



ICT活用の現状や課題を共有した参加者

ICT活用で 生産性向上を

建設関係が推進連絡会

国土交通省高崎河川国道事務所や県などは3日、情報通信技術（ICT）の活用を推進して建設現場の生産性向上を目指す「県アイ・コンストラクション推進連絡会」を発足させた。高崎市の同事務所

で初めて会議を開き、約20人が現状や課題を共有した。

連絡会には同省関東地方整備局の5事務所と県、県建設業協会、県測量設計業協会が参加。国や県がこれまで発注したICT活用

工事の事例や、企業側がICT化をどう受け止めているかについてのアンケート結果が紹介された。

会長に就いた桑原正明・高崎河川国道事務所長は「業界で高齢化が進む中、生産性向上は課題。各企業が少しずつ技術導入を進め、経験を積むことが大切」と話した。今後も不定期で開催する。